LME相場、他 （現地●日）					

1～2月の中国銅スラップ輸入は19万2千トン　前年同期比60.4%増

中国の1～2月銅スクラップ輸入総量（合算数値）は、前年同期比60.4%増の19万1722トンだった。新規格「再生銅原料」の運用開始に伴い日本からの輸入数量がなお増加傾向を示したほか、マレーシアや米国からも大きく伸び高水準となった。なお、中国では毎年春節の時期がずれるため、1～2月を単月で見た場合、前年比の増減率が大きくなることから、近年は1月と2月は合算数値として発表している。

輸入先で最多だったのはマレーシアからで前年同期比36.8%増の4万6423トン。次いで日本からが同2.14倍増の3万5461トン、米国からが同3.9倍増の2万2280トンで続いた。

中国の銅系スクラップ輸入推移　（単位：トン）

輸入先	2019年（暦年）	2020年（累計）	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年（累計）
日本	137,954	146,245	20,374	23,040	17,730	17,730	35,461
マレーシア	267,520	171,894	12,416	25,823	23,211	23,211	46,423
米国	99,297	99,897	13,798	9,480	11,140	11,140	22,280
オーストラリア	37,010	28,603	2,110	2,270	2,118	2,118	4,236
スペイン	49,805	26,160	1,500	2,449	977	977	1,955
台湾	57,545	45,998	5,530	9,796	5,254	5,254	10,507
オランダ	44,299	16,042	386	1,224	832	832	1,663
韓国	37,373	19,518	2,264	4,606	1,958	1,958	3,917
ドイツ	61,687	24,619	2,539	2,422	1,175	1,175	2,350
英国	107,415	56,195	4,866	1,746	2,450	2,450	4,901
香港	236,937	95,101	6,694	12,503	5,692	5,692	11,383
その他	369,460	221,445	20,777	22,380	23,324	23,324	46,648
合計	1,496,192	943,789	93,254	116,739	95,861	95,861	191,722

（中国貿易統計）

4月の銅・アルミスクラップ市況見通し

非鉄金属リサイクル全国連合会 橋本健一郎会長（橋本アルミ取締役）

4月のLMEと為替は、米国の経済と景気対策及び欧米中関係の動向に左右されそうだ。米国経済と景気対策については、3月末にバイデン大統領が2兆ドル強のインフラ投資計画を発表した。政府の権限を活用して米経済を再構築し、中国の影響力拡大に対抗する姿勢から米景気は上向くと見ている。欧米中関係については、欧州連合（EU）や米国が中国での少数民族ウイグル族の不当な扱いが人権侵害にあたるとして中国政府当局者らへの制裁を決めたことや、香港選挙制度の改正、台湾領空への中国機の侵入など事態は更に悪化していると言える。それらを踏まえ、4月のLME銅価格（セツルメント）は9,000～9,500ドルのレンジで、銅建値は102～110万円程度。LMEアルミ価格は2,200～2,400ドルのレンジで、スクラップ購買価格（前月最終価格より）は据え置きから＋5円程度と見込む。為替は1ドル＝109～112円（1カ月間TTM）程度を想定している。

スクラップの景況感としては、銅スクラップの流通在庫は建値が100～104万円の高値安定の中で発生も在庫もほどほどにある。メーカーの原料在庫は薄いが、高値警戒感から買いに慎重だ。一方、アルミスクラップの流通在庫は発生減で絶対量が少なく、メーカー各社の在庫も少ない状況が続いている。